

第 16 章	社会(歴史)	名前:	日 付	No.01
	昭和			

[問題 1]

文中の()に適語を入れよ。

(①)年、ニューヨークの株式市場で(②)が大暴落し、銀行や工場が倒産して失業者があふれ、また農産物価格も急落した。こうした混乱は、(③)(国名)から世界中に広がり、(④)恐慌へと発展した。(③)は、(⑤)大統領の(⑥)政策で公共事業を行った。また、イギリスやフランスは本国と植民地との結びつきを強める(⑦)によってこの混乱を克服しようとした。一方、ソ連では(⑧)を指導者として、計画経済を進めていたため、世界恐慌の影響は受けなかった。

[解答欄]

①1929	②株価	③アメリカ	④世界
⑤ルーズベルト	⑥ニューディール	⑦ブロック経済	⑧スターリン

[解説]

1929年 ニューヨークで株価が大暴落→世界恐慌
 アメリカ:ルーズベルト大統領のニューディール政策
 イギリス・フランス:ブロック経済
 ソ連:世界恐慌の影響は受けずスターリン, 五か年計画

1929 年、ニューヨーク株式市場の株価が大暴落し、銀行や工場が倒産して失業者があふれ、また農産物価格も急落した。この経済の混乱は世界中に広がり、世界恐慌をもたらした。

アメリカでは 1933 年にルーズベルトが大統領になり、ニューディール政策を実施した。

これは、公共事業をおこし、生産を調整し、失業者を助け、労働組合を保護する政策であった。

イギリスやフランスは、植民地との貿易を拡大する一方、他の国の商品には高い関税をかけて、これをしめだすブロック経済を実施した。

当時ソ連ではスターリンを指導者として、五か年計画等の計画経済を進めていたため、世界恐慌の影響は受けなかった。スターリンは、反対する人々を大量に死刑や流刑にする独裁政治を行った。

[問題 2]

次の文章を読み、各問いに答えよ。

- A 政府が公共事業をおこしたり、産業の生産調整を行ったり、失業者の援助をしたりして、国民の購買力を高めた。
- B 計画経済をすすめ、農業の集団化や急速な工業化をはかっていたので、恐慌の影響をほとんど受けなかった。
- C 本国とインドなどの植民地との結びつきを強め、植民地の商品には関税を安くし、ほかの国の商品には高い関税をかけた。
- (1) A～C は世界恐慌のときに各国が行った政策を示したものである。A～C に適する国名を書け。
- (2) A、C が示しているような政策をそれぞれ何というか。
- (3) A を行った大統領は誰か。
- (4) B を行った指導者は誰か。

[解答欄]

(1)A アメリカ	B ソ連	C イギリス	(2)A ニューディール政策
C ブロック経済	(3) ルーズベルト	(4) スターリン	

[問題 3]

次の各問いに答えなさい。

- (1) 世界恐慌への対策で、ブロック経済を行ったヨーロッパの国を 2 つ答えなさい。
- (2) (1)のブロック経済とはどのようなものでしたか。「関税」、「植民地」の語句を使い簡単に説明しなさい。

[解答欄]

(1) イギリス、フランス
(2) 本国と植民地の間の商品には関税を安くし、ほかの国の商品には高い関税をかけた政策。

【問題 4】

次の文の①～⑥に適語を入れよ。

イタリアでは(①)党のムッソリーニが、ドイツではナチス党の(②)がそれぞれ政権をにぎり(③)政治を行なった。イタリアは(④)に侵攻し、ドイツは(⑤)人に対する差別政策を進めた。イタリア・ドイツのように反民主、反自由主義を掲げる(③)政治を(⑥)という。

【解答欄】

① ファシスト	② ヒトラー	③ 独裁	④ エチオピア
⑤ ユダヤ	⑥ ファシズム		

【解説】

[ファシズム] イタリア：ムッソリーニ のファシスト党 エチオピアへ侵攻 ドイツ：ヒトラー の ナチス党 ユダヤ民族 の迫害 (アウシュビッツ収容所)
--

イタリアでは、すでに 1922 年にムッソリーニがファシスト党を率いて独裁を行っていた。
ドイツは第一次世界大戦の賠償金の支払いに苦しみ、物価高がおこっていたが、世界恐慌は、経済をさらに悪化させ、失業者が増大した。ヒトラーの率いるナチス党は、国民生活の安定を約束し、ドイツ民族の優秀さを大衆の感情に訴えることで国民の支持を集め、1933 年に政権を握った。ヒトラーは他の政党を解散させて独裁を完成し、国際連盟を脱退して軍備を強化し、さらにユダヤ民族を迫害した。ドイツやイタリアにあらわれた、このような政治をファシズムという。

【問題 5】

次の各問いに答えなさい。

- (1) ヒトラーが率いた政党名を答えなさい。
- (2) ①ヒトラーが弾圧した民族を答え、②さらに、ポーランドにあったその最大の収容所名を答えなさい。
- (3) イタリアが侵略し、併合した国名を答えなさい。

【解答欄】

(1) ナチス党	(2)①ユダヤ民族	②アウシュビッツ	(3) エチオピア
----------	-----------	----------	-----------

[問題 6]

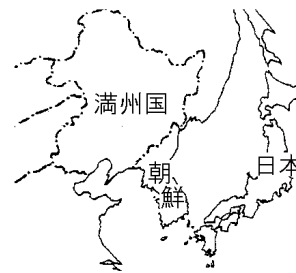
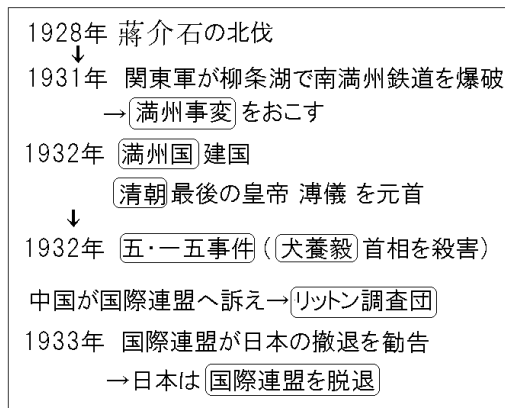
文中の()に適する語句を答えよ。

日本の軍部や国家主義者などは、「満州は日本の(①)線」と主張し、その侵略をくわだてた。関東軍は奉天郊外の(②)付近で(③)の線路を爆破し、これを中国軍のしわざだとして満州事変を引き起こした。そして翌年、清朝の最後の皇帝の(④)を元首とする「満州国」をつくった。

[解答欄]

①生命	②柳条湖	③南満州鉄道(満鉄)	④溥儀
-----	------	------------	-----

[解説]



1927年、中国では蔣介石の率いる中国国民党が南京に国民政府を樹立し、中国の統一を進めていき、満州における日本の権益を中国に回収することを表明した。

危機感をいだいた満州駐留の関東軍は、1931年、奉天郊外の柳条湖で南満州鉄道(満鉄)を爆破し、これを中国軍のしわざであるとして満州事変を起こし、満州全土を占領した。

この計画は陸軍、それも出先機関の関東軍が勝手に始めたものであり、当時の若槻礼次郎内閣(政党内閣)にとっては、まさに寝耳に水であった。政府は不拡大方針をとろうとしたが、関東軍はこれを無視して占領地を拡大した。明治時代の藩閥政府のような強力な力を持たず、汚職や政争をくり返して国民の信頼を得ることができなかった政党内閣は、軍をコントロールする力に欠けていた。世論やマスコミはむしろ軍の行動を支持し、自信を失った若槻内閣は総辞職した。軍は、1932年に、清朝最後の皇帝溥儀を元首とする満州国をつくった。若槻内閣にかわった犬養毅内閣は、満州国の承認に反対する方針をとったが、これに対し、海軍将校の団が犬養毅首相を殺害した。この五・一五事件によって8年間続いた政党内閣の時代が終わった。

満州事変はアメリカを中心に各国の反発を招き、中国からの訴えで国際連盟はリットン調査団を送り、日本軍の占領地からの撤退を勧告した。1933年、この勧告が総会で42対1で可決されると、日本は国際連盟を脱退し、国際的に孤立することになった。

[問題 7]

右の地図を見て答えなさい。

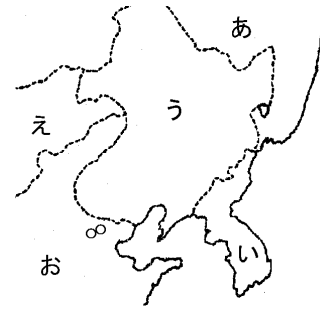
(1) 日本が 1932 年につくった「満州国」の位置を、地図中のあ～お から選びなさい。

(2) 満州国の元首(執政)にされた人物は何者ですか。

次のア～エから選びなさい。

ア 天皇の弟 イ 朝鮮国王のいとこ

ウ 孫文の孫 エ 清の最後の皇帝



[解答欄]

(1) う	(2) エ
-------	-------